

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名 (ペーパードライバー講習合同会社)





分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット) 関連項目																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿った公正な待遇を実現しています。全社員が公平に評価され、正当な賃金と福利厚生が適用されるよう、人事評価制度を見直し、透明性を確保しています。また、正社員と非正社員の待遇差を解消し、すべての社員が平等に貢献できる職場環境の維持に努めています。					5.5				8.5		10.2 10.3															
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		従業員が心身ともに健康を維持できるよう、健康診断やメンタルヘルスサポートの充実を図り、健康管理体制を強化しています。定期的な健康診断やカウンセリング窓口の設置により、社員の健康リスクの早期発見と対策を実施しています。社員の健康維持と生産性向上に取り組むことで、健康経営を推進しています。									8																	
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	【予定】 ICTやAIを活用したデジタル化推進により、業務の効率化とビジネスモデルの変革に取り組む予定です。今後、各種業務プロセスのデジタル化や自動化を進め、データを活用した意思決定の迅速化を図ります。									8	9.1		11	12													
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 (例) 鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●											8		10														
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物や有害化学物質の管理・処理に関して、関係法令に基づいた適切な取り組みを行っています。								3.9			6.3			11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1								
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社のエネルギー使用量を把握し、電力やガソリンなどの使用量削減に取り組んでいます。エコドライブの促進や省エネ設備の導入を進め、2030年までにエネルギー使用量を現状から15%削減することを目標としています。										7.3						13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室効果ガスの排出量を把握し、排出抑制に取り組んでいます。エコドライブ講習や社内の省エネ活動を通じ、ガソリンや電力の消費削減に努め、2030年までにCO2排出量を15%削減することを目標としています。環境負荷の低減を目指し、具体的な削減計画に基づいて取り組みを進めています。							2.4									12.4	13	14	15							
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる (グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等)。	●		【予定】 環境に配慮した製品の購入や開発、製造を進める予定です。グリーン購入やリサイクル認定製品の活用を推進し、エコ商品調達率の向上を目指します。また、環境保全に貢献する商品選定を進め、持続可能な調達の実現に向けた計画を整備し、徐々に実施していく予定です。														9.4		12.4 12.5	13	14	15							
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		自社の活動が生物多様性や生態系に悪影響を与えないよう配慮しています。事業活動に伴う生態系への影響を考慮し、廃棄物管理や環境保全措置を強化しています。										6.6								14	15							
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再生利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ごみの削減と資源の有効活用を目指し、発生抑制(リデュース)、再生利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいます。社内ではリサイクル意識の向上を図るための教育を実施し、廃棄物削減に向けた行動を推奨しています。また、再利用可能な資材の利用拡大を進め、2030年までに廃棄物を20%削減することを目標としています。																	11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15					
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		●	自社の水の利用状況を適切に管理し、水使用の効率改善に取り組んでいます。定期的な水使用量のモニタリングを行い、社内設備の改善や節水対策を実施しています。将来的には水の使用量を10%削減する目標を掲げ、水資源の持続可能な利用に向けて社員一丸となって取り組んでいます。								2.4										11.5	14.1 14.2 14.3	15		17				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●													6.4								12.3	14	15		17		
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●														6	7							12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●																							12.6				
32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	再生可能エネルギーの利用を推進し、太陽光発電や風力発電の導入を検討しています。エネルギー消費量の効率化を進め、2030年までに全体エネルギー使用量の20%を再生可能エネルギーに切り替える目標を設定しています。これにより、持続可能なエネルギーの利用促進とCO2排出の削減を目指します。																						13.1 13.3					
33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●																								12.2	13	14	15	
34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		●														6.1 6.3 6.6											11.3 11.4 11.5	12.2	13	15

(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、「予定」と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名 (ペーパードライバー講習合同会社)

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。		●											12.2 12.5		14						
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	社員の通勤においては、公共交通機関の利用を奨励し、また、業務用車両においては、EVや水素自動車の導入を進めています。さらに、カーボンフットプリント削減のための具体的な目標を設け、2030年までに業務用車両の20%を環境配慮型車両に切り替えることを目指しています。									9.4		11.2		13.1 13.3					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		品質管理体制を強化し、定期的な監査や検査を実施することで、顧客に信頼される製品・サービスを提供しています。品質基準を明確に定め、全従業員が品質向上に取り組む文化を根付かせ、持続的な改善活動を行っています。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を進めています。ユニバーサルデザインの考え方を採用し、すべての人々に配慮した製品やサービスを提供しています。高齢者や障がい者を含む多様なニーズに応じたインフラやサービスを整備し、社会全体でのアクセシビリティ向上に寄与しています。									9.1	10	11.7						17	
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		【予定】自治活動や福祉活動、防災活動、寄付、ボランティア活動など、社会貢献活動に今後積極的に取り組む予定です。地域の支援が必要な分野に注力し、社員がボランティア活動に参加する機会を増やすとともに、地域社会の課題解決に貢献できるよう取り組みを強化します。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受け入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。		●	【予定】職場体験やインターンシップの受け入れ、出前講座の実施を通じて、地域の児童や学生に学びの場を提供する予定です。				4					8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	【予定】若者の県内就職を促進する取組を強化する予定です。地域企業とのネットワークを拡充し、地元の学生に対して就職説明会や企業訪問の機会を提供します。また、インターンシップや就職後の支援を通じて、若者が地元でキャリアを積んで定着できるよう、地元企業と協力して具体的な施策を実施する予定です。				4.4					8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●										8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●				2	3	4				7	8	9	10	11	12		14	15	
46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●										8			11	12				15		17